



「ゆとりの森」で伐倒方法を学ぶ 実施：8月24日(日)

8月例会

～ 枯損木「松、コナラ」での伐倒研修～

参加：会員37名

この度の例会は、眺望を損ねている枯損木(マツ、コナラ)伐採に併せ、「伐倒方法を学ぶ」を主題に研修会形式で実施いたしました。

これまで、例会で幾度となく「チェーンソー」「チルホール」を活用した伐倒作業を行ってききましたが、「機器操作の経験不足」、「作業手順の合意形成不備」など色々な課題が発生しておりました。そのような、問題を少しでも改善できればとの思いで A.B.C の3つにグループ分けをして、リーダーを中心に経験者をバランス良く配置し、作業の役割を何かしら全員が担い、漏れなく体験出来るような体制にいたしました。

各リーダーには予め、それぞれの作業項目ごとに手順の確認事項を作成して渡し、伐倒木の状態、伐倒方向の確認に始まり、チェーンソーでの伐倒手順、ロープ掛け、滑車の設置、チルホール設置操作などの実践指導を、事細かく「見て、聴いて、さわって」を念頭に、参加者全員が基本を体験し理解を得る活動になるように工夫を重ねました。

育成講座以来の伐倒作業という会員も多く、実践経験の浅さから対処法を忘れ、受け口、追い口をどの位置に作れば良いか等々、チェーンソー操

作に悪戦苦闘。しかし、外気温の高さ以上の熱意ある先輩方の指導により、課題ごとの念入りな確認、時間をかけての機器の取扱い操作等も体験出来、充実した研修になりました。

昼食は、各自の手持ち弁当に加え、冷汁と冷やしたスイカをいただき、疲れた体に何よりのご馳走でした。調理してくださった北田正子、杉田正子さんには厚くお礼申し上げます。午後からも、やり残した作業を継続、各グループとも2本～3本「中、大径木」の伐倒並びに周辺の支障木を除去し終了しました。

ふりかえりに於いて、皆さんからも学びの多い例会であったとのことのお話があり、担当班としても事故なく終わられた事に安堵。

最後に、この様な場を提供して下さったオーナーの沖野様に深く感謝申し上げますと共に、終了時には全員にアイスクリームを差し入れてくださり、重ねてお礼申し上げます。

次回は、やり残した箇所の景観整備に努めさせて頂ければと思っております。

【4班 班長 富田 実】



入念な作業前のミーティング。
「皆様ご安全に」



チェーンソーでの伐倒作業。
指導員の指導による受け口作り。



Before



After

